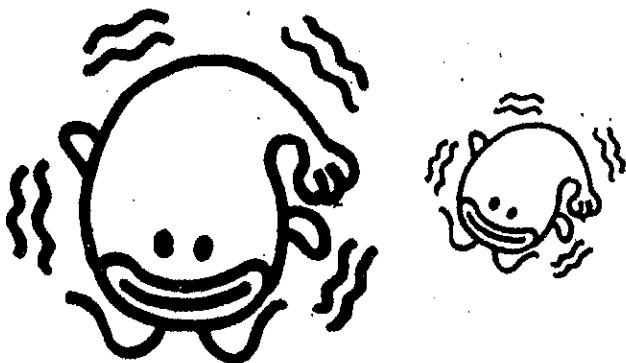


# 衣川台なまず通信

3号



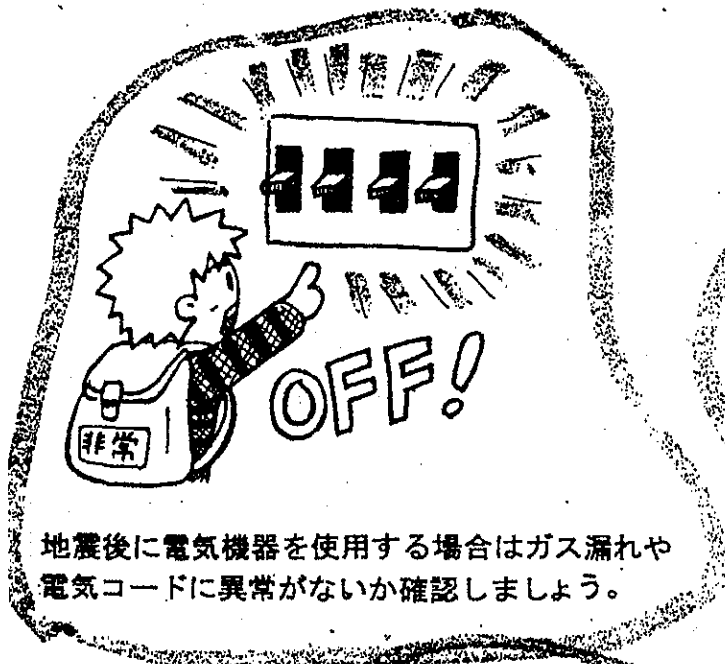
発行 衣川台自主防災部

発行日 2005年 12月15日

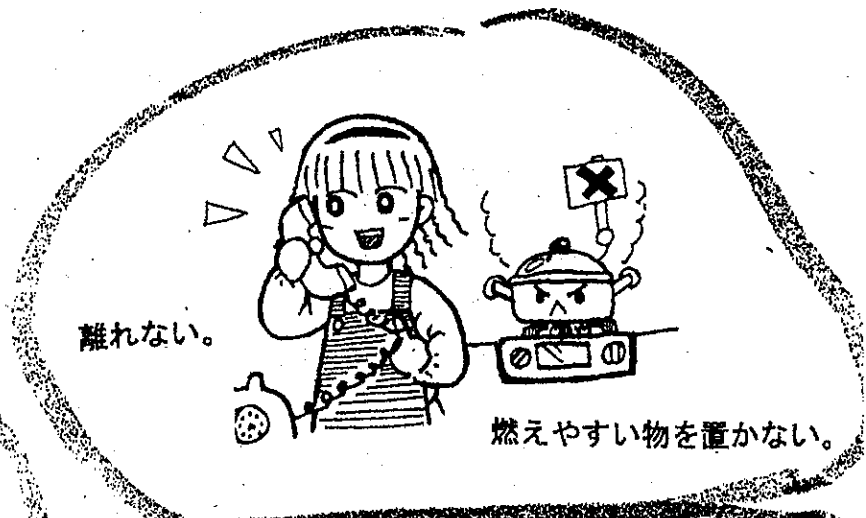
## 「火を出すな！」

衣川台自主防災部 消火班

地震で怖いのは火災です。消防署が手一杯ですから、ご自宅だけでなく延焼によりご近所をも巻き込んでしまいます。阪神淡路大震災の時も火災で大きな被害が出ました。火災を出さないため家庭では次のことにご注意ください。



地震後に電気機器を使用する場合はガス漏れや電気コードに異常がないか確認しましょう。



離れない。

燃えやすい物を置かない。

電気器具は不使用时にコンセントから抜いておく。  
電気ストーブ、トースター、電気オーブン  
ヘアドライヤー、白熱電球型電気スタンド等



準備

OK

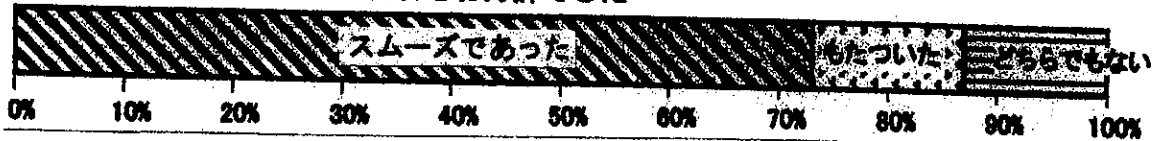
2~3本用意して、家の中に分散

## 第2回防災訓練アンケート集計

【訓練内容】 「対策本部の立ち上げ」と 「世帯の安否確認」

去る11月5日に行なわれた訓練に、参加された方から寄せられたご意見や、要望を集約してご紹介します。今回の訓練では日ごろのご近所とのコミュニケーションの大切さを実感しました。

☆ 安否情報連絡ルートは おおむね好評でした



☆ 第2回防災訓練について

- ・ 情報連絡に携わった組長、グループリーダーからは、「おおむね主旨を理解して協力的であった」とする反面、「不参加家庭への対応のあり方」について、住民の防災に対する意識には格差があり、どうすれば全体レベルの高揚がはかれるか、といった心配の声が多くありました。
- ・ 本部での対応に、戸惑いを感じられた。また事務局の指示を末端まで徹底してほしい。とか、訓練の案内放送について、聞く側にたった放送であってほしい、といった放送技術のあり方についての指摘もありました。

☆ 災害発生時に、プライバシー保護などの問題の対応について

- ・ 災害時には人命救助や、消火を優先しないと手遅れとなる。普段のお付き合いの中で、非常時における活動範囲について、その認識をお互い持ち合うことが大切ではないかという意見が主流でした。
- ・ 向こう三軒両隣がベースとなった今回のグループ割りは、共助の足がかりであり対応力も備えているとして評価されています。

☆ 今後実施を希望する訓練と全般的な要望事項として

- ・ 消火や、怪我人の救出訓練をして欲しい。安否確認訓練は繰り返し行なって慣れる必要がある。これらを各班ごとに個別訓練を行い、時期をみて総合訓練の実施をすればどうか。
- ・ 災害時の必需品の紹介、家具転倒防止の方法や施工の指導、幹旋など、自助のための防災対策について教えてほしい。
- ・ 緊急車両の通過に備えた路上駐車を取り締まり、危険箇所をチェックする安全パトロールの実施といった提言もありました。

# ちょっと聞いて!!!

防災部 活動協力員 青谷節子(5組)

怖がりの私は、地震の備えとしての「避難袋」や、「風呂の水を落とさない、朝には掃除の後新しい水をためておく」「寝室にはなるべく物を置かない」等実行できることは、ここ20年あまりずっとしてきました。

阪神淡路大震災のあと地震の情報がいろいろな角度から得られるようになり、講演会には何度も出かけ、神戸の未来館へも行きました。そこで震度7の揺れはないものの、地震の大音響(物の壊れる音)を体験しました。

そして、なすすべのない事を実感。

でもいつか起きる地震。ただ手をこまねいて待つだけ?

やっぱり地震の事をもっと知っておこうと思います。そして隣近所の人に迷惑をかけないようにある程度の物は備えておこうと思います。そして私が家の下敷きになった時、助けていただけるように地域の皆さんと日々仲良く楽しく過ごしていきたいと思っています。

遠くの親戚より近くの他人とはよく言ったもので、「おばあちゃん」になった今、これからは衣川台の皆様にお世話になる生活です。

遠くの知人より近くの知人の皆様これからもよろしくお願ひ致します。

## 防災訓練のビデオをご覧になりませんか!

多数の方々が参加され11月に実施された第2回、第3回の防災訓練の様子を5組篠川さんがビデオ撮影され、編集して下さいました。

多くの方々の様子が写っております。その様子を見たい方は防災部事務局までお申し出ください。ビデオテープをお貸しします。

### 防災ひと口メモ その2

「ぐらっ」ときたらまずあわてずに

- ① 落ち着いて身の安全をはかる
- ② 自宅の近くにとどまって、声を掛け合い、近所どうし安否を確かめあいましょ
- ③ 正しい情報を得てデマにまどわされない



## 防災活動員の公募

衣川台自主防災部

**防災部は「災害活動員」となって**

**衣川台の防災活動にお力を貸して頂ける方を求めています！**

○ 「災害活動員」として手を挙げられたら—

次のうち どちらかになって頂きます

防災部の役員として本部員や班員に

本部には「情報班」「消火班」「救出班」「救護班」「避難誘導班」「給食給水班」の6つの活動班があります

訓練や研修にできるだけご参加願ひ 防災のセミプロをめざして頂きます

衣川台の防災活動を引っ張るリーダー集団です

防災活動を側面から援助する活動協力員に

災害時にご家庭の安全を確保するため「防災意識」と「知識」を向上して頂くことが協力員になってもらう一番のねらいです

印刷の作業、資料の配布、訓練への参加の呼掛け、機関紙の発行等、お手伝い願えることをやって頂きます

いざという時 安否情報の受け付けや給食の配布等の活動班業務を助勢頂くこともあるでしょう

○ 「災害活動員」の現状—

合計38人です

・「役員」となって頂いている方 24人

・「協力員」となって頂いている方 14人

防災部ではご協力頂き 当面100人規模にしたいと思っております

○ 公募の申し込みは

防災部事務局までお願いします。(年間を通じいつでも受け付けます)

**防災部でパソコンを必要としております。**

**どなたか寄贈していただませんか！**

防災部では資料作成、周知／広報文書の作成や緊急時の対応のため、本部で使用するノート型パソコン(エクセル・ワードソフト機能)とプリンターを必要としております。

どなたか買い替えなどで、不要となっているパソコンとプリンターを寄贈頂けませんでしょうか。

寄贈いただける方は事務局長軸丸(TEL 573-4297)までご連絡下さい。